



祝 トマト選別機及び予冷库完成竣工式

TOPICS

新トマト選果機が完成しました! 末永町にあった旧選果場から長ネギ施設内へ移転します! 高性能カメラを搭載し、厳しい品質が求められます。もっと美味しい伊達のトマトを作りましょう!

■ トマト選果機竣工式

2月24日(木)、新トマト選果機及び予冷库の竣工式を旧長ネギ選果施設で行いました。

竣工式には菊谷秀吉市長をはじめ、胆振農業改良普及センターの小坂善仁所長など約20名が参加しました。

長ネギ選果場を改修し、トマト選果場の新設と移転を図り、施設の集約化を行いました。菊谷市長は「補助から投資へ変え、基幹産業である農業を支援していきたい」と挨拶し、佐藤哲組合長は「市の協力に感謝し、主軸であるトマトの生産性の向上と収益力、ブランド力を強化していきたい」と話しました。

総事業費は約2億8千万円で国や市の補助を受け実現。1日当たり16トンの処理能力を持ち、最先端のカメラやセンサーで糖度や重量、色味、形を判別でき、品質の向上を図ります。

トマト部会（永田克彦部会長）は現在47戸で令和4年産の作付面積は約10ヘクタール。約350棟のハウスで作付され、主な品種は桃太郎はるかや桃太郎ワンダーで5月下旬から10月まで出荷します。

JAではトマトの増産を目標に掲げ、新規のハウス設置補助金や部会への加入を推進し、伊達野菜ブランドの強化を目指します。



祈祷のようす



稼働式のようす

■ 大雪被害（3月8日現在）

2月下旬の大雪によるハウス倒壊等の被害を受けました。

倒壊した園芸用ビニールハウスは約89棟。倉庫や牛舎などは26棟でJAや伊達市、胆振農業改良普及センターが被害調査を実施しました。

冬野菜の作付けがあるハウスの被害もあり、施設や作物の被害総額は約1億3千万円にのぼり、被害を受けた方は「雪が多く、除雪が間に合わない。解体費用や設置費用を考えるとどうしていいかわからない」と話していました。

市や道に被害調査結果を報告し、支援等を検討しています。



被害のあったハウス



被害のあった元牛舎



被害のあった倉庫

■ 伊達市農業青色申告会定期総会

2月18日(金)、伊達市農業青色申告会定期総会を開催しました。片平寿彦副会長の挨拶の後令和3年度事業並びに会務処理報告、収支決算報告、監査報告、令和4年度事業並びに会務処理計画、収支予算案等が審議され、全て原案通り可決されました。役員の改選はありません。

会 長 篠原 一寿（留任）
副 会 長 片平 寿彦（留任）
副 会 長 小野 裕一（留任）
理事(会計) 前田 幸彦（留任）
理 事 永田 聡（留任）
理 事 熊澤 太一（留任）

理 事 井澤 善勅（留任）
監 事 三戸部和幸（留任）
監 事 鈴木 亨（留任）



総会のようす

JA女性部



JA青年部



女性部・青年部ともに書面総会を開催しました。全議案が可決され、コロナ禍の事業運営を再検討しました。

■ 女性部役員

部長 穴 戸 恵美子 (留任)
 副部長 小 山 里 果 (新任)
 理事 渡 邊 英 子 (新任)
 理事 高 木 真紀子 (留任)
 理事 大 堀 愛 子 (留任)
 代表監事 八木沼 ひろ子 (新任)
 監 事 石 橋 紀 子 (新任)

■ 青年部役員

部長 廣 瀬 将 大 (留任)
 副部長 栗 橋 勝 利 (留任)
 理事 小笠原 典 之 (留任)
 理事 佐 藤 俊 史 (新任)
 代表監事 坂 元 博 行 (新任)
 監 事 大和田 康 太 (新任)

伊達市の堆肥成分表

系 統		畜ふん		生ごみ		鶏ふん		水 産	
分析項目	単位	原物中	乾物中	原物中	乾物中	原物中	乾物中	原物中	乾物中
水分	%	53.66	-	28.3	-	50.23	-	30.29	-
窒素	%	1.495	3.225	2.168	3.024	1.709	3.434	1.288	1.847
リン	%	2.318	5.003	2.283	3.185	2.483	4.989	1.57	2.252
カルシウム	%	3.012	6.498	18.203	25.39	3.304	6.639	23.767	34.095
マグネシウム	%	0.871	1.879	0.971	1.354	0.935	1.878	0.912	1.308
カリウム	%	2.356	5.083	1.851	2.581	2.534	5.092	1.315	1.886
灰分	%	13.51	29.16	40.08	55.9	14.65	29.43	48.37	69.39
炭素	%	17.22	37.16	19.54	27.25	19.06	38.3	15.36	22.03
C/N比	-	11.52	-	9.01	-	11.15	-	11.92	-
pH	-	7.53	-	7.6	-	7.45	-	7.56	-
EC	ms/cm	15.7	-	16.86	-	14.89	-	13.46	-
マンガン	ppm	214.095	461.967	191.958	267.749	226.629	455.427	144.008	206.59
亜鉛	ppm	258.478	557.736	243.656	339.859	282.692	568.09	204.755	293.735
銅	ppm	71.291	153.83	49.698	69.321	77.891	156.527	42.69	61.241
鉄	%	0.073	0.159	0.139	0.194	0.104	0.21	0.139	0.2
ニッケル	ppm	6.634	14.314	9.334	13.019	5.557	11.168	5.929	8.506
コバルト	ppm	4.371	9.431	5.941	8.286	3.664	7.362	3.802	5.454

令和3年度地区別組合員懇談会における 主な質問・意見に対する回答について

1月11日～15日に渡り9地区（8回）で行われた懇談会ではお忙しいところ、またコロナ禍の中でありましたが82名の組合員の方々にご出席頂きまして誠にありがとうございました。皆様から頂きました質問・意見に対しましての回答を要約してお伝え致します。

今回皆様から頂きました貴重なご意見を踏まえ、ご期待に応えるべく事業推進に努めてまいりますので、今後とも建設的なご意見を賜りますよう宜しくお願い致します。

伊達市農業協同組合

■ 総務・共通・その他

Q1. サツマイモの試験栽培から本格的な産地化を早期に目指してはどうか

A1. 本年は伊達市内7地区において試験栽培を予定しておりますが、北海道産サツマイモとしての当地区の優位性や収益性など分析し、早期に有利販売へ繋がられるよう取り組んで参ります。ご理解とご協力をお願い致します。

Q2. サツマイモの販売方法は

A2. 生食販売を基本に考えておりますが、本年収穫後の保存状態等も確認しながら、収穫後の粗原や加工向け販売などホクレンと協議し検討してまいります。

Q3. 青果の販売価格情報をJAコネクトで送ってほしい

A3. 組合員の要望を確認し希望者にJAコネクトにて情報を提供するようにいたします。

Q4. JAコネクトの活用方法について（組合員からの発信・依頼等）

A4. 各課部門について業務に見合った運用を検討してまいります。

Q5. 外部出資額の評価減少とは

A5. 前年度も特別損失計上させて頂きました。出資額面は変わりませんが、決算時の資産査定を行う際に経営状況により評価額を算定する事となります。このほど更に評価が下がりましたので令和3年度損益勘定に評価損として特別損失に計上することとなります。

Q6. クレードル興農(株)とJA（組合員）との取引状況はどうなっているのか

A6. 令和3年実績で、加工スイートコーン・トマト・カボチャ、Wアスパラ合計で23,000千円位の取引額となっております。

Q7. 中央会等の監査状況はどうなっているのか

A7. 近年の監査については、監査代替的調査としてJAバンクルール等に則り金融機関としての位置付けから厳格に行われております。また、経営監査としてJA北海道中央会が経営内容についての課題提起や事務改善指導などが行われております。北海道の行政監査につきましても3年に一度行われております。

Q8. 人員体制を見直してほしい

A8. 職員の途中退職など、職員数も減少してきており業務の見直しや効率化を図りながら進めているところです。業務には繁忙期や閑散期など時期的な問題もあり、各課応援体制を取りながら業務の平準化が図られるよう取り組んでおります。

Q9. 利益準備金の積み立て等、組合資本はどうなっているのか

A9. 健全経営積立金を2億円まで積み上げさせて頂き、また前年の総代会では、税効果積立及び固定資産の減損損失等将来的リスクに備えるための積立金として、合わせて39,000千円程の承認を頂いたところです。これらから、組合員の皆様のご協力により組合員資本額としては約14億7千万円、自己資本比率14.7%と財務基盤強化が図られております。

■ 信用部

Q1. 信用事業が厳しくなり高齢化も進む中での将来的な対策等、今後の方針は

A1. ご意見のとおり長引く低金利環境から収益が低下傾向となっておりますが、地域の金融機関としてサービスを提供していくとともに、経営の効率化を進め、持続可能な収益性と将来にわたる健全性の確保に努めてまいります。

Q2. 営農計画書について、正組合員全件の提出とし

たのは何故か。活用方法はどうか考えているのか

A2. 組合員皆様の家族構成、施設の状況、作付け面積等から管内農業の現状について正確にとらまえ改革を実践するための方針策定やJA事業在り方皆様の所得向上のための取組みに活かしてまいります。

Q3. 営農計画書の作成について、販売や購買をJAを通していないが提出しなければならないのか

A3. 販売品の取引状況についての実態を把握したいと考えておりますので、ご協力とご理解のほどよろしくお願いいたします。

Q4. 営農計画書の作成について、播種や定植まで記載する必要があるのか。細かすぎる・簡略化できないのか

A4. 青果物における、作物毎の作付け面積、播種から収穫までの栽培歴を記入いただき、JA管内全体の作付け動向の把握、今後の販売・購買事業の方針策定に活かしてまいりたいと思いますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

Q5. 営農計画書を細かく記載することで、どのように活用されるのか

A5. 営農計画書からの情報を精査し、JA事業へ活かしていくこと並びに組合員皆様へ全道各JAにおける営農情報の提供を行ってまいります。

Q6. 営農計画書の作成について、個人情報等が多いのでデーターの扱いについては十分に注意を願う

A6. 法に基づき、適正に管理してまいります。

Q7. 営農計画書の作成について、販売単価等の変動が大きい。生産物販売単価の安定を願いたい

A7. 営農計画書については、参考として基準単価を示しております。参考値としての利用をお願いし、個人の単価設定での作成を妨げるものではありませんが、無理のない範囲で作成されるよう願います。販売価格については、各市場や関係機関と連絡を密に取り生産物の有利販売に努めてまいります。

■ 営農生産部

Q1. シカとアライグマの被害が大きい。どうかして欲しい

A1. 農産物被害は深刻化しておりますので関係機関と連携し鳥獣被害防止に努めてまいります。

Q2. シカ対策について、電気牧柵は効果がある。補助事業等で全ての畑をやりたいので有効な事業の案内が欲しい

A2. 国費の対策事業がありますので、市と連携し鳥獣被害を軽減するための対策に努めてまいります。また、申請が可能となりました組合員の皆様にご

案内申し上げます。

Q3. シカ対策について室蘭市はどうなっているのか

A3. 農協より室蘭市にはシカ対策の要請をしているところですが、具体的な対策はできておりませんので再度皆様の被害状況を報告し、強く要請してまいります。

Q4. 有害鳥獣について、総体の頭数を減らして行かないと、電気牧柵等の対策だけでは対処しきれない

A4. 猟友会やわな猟免許取得者による捕獲を実施しておりますが、組合員の皆様には、わな猟免許取得をいただき捕獲による対策にご協力をお願いします。

Q5. 有害鳥獣狩猟民の資格を取る場合、講習会等に参加しなければならないのか

A5. 講習会を受講していただく必要があります。時期が来ましたらJAよりご案内申し上げます。

Q6. 販売担当者をあまり変えないでほしい

A6. 販売については各品目において販売先や販売方法が異なることから各担当者ともにスキル向上を目的に変更することもあります。生産者の不利益にならないように適性配置に努めてまいります。

Q7. 畜産部門の個体販売額の増加要因は何か

A7. 養豚部門において、本年度から新規加入者で法人取扱が増えたことで販売額が増加となっております。

Q8. トマト増反、増産方法はどのように考えているのか

A8. 伊達市によるトマトハウス助成や農協のトマト出荷奨励金により増産の推進を実施してまいります。

Q9. 労働力不足に対する考え方は

A9. 営農指導課による1日バイトの推進並びに近郊大学生や専門学生の短期アルバイトでの雇用を実施しております。今後も生産者の方々への雇用対策を実施してまいります。

Q10. 新規就農者は近年で何件程度就農しているのか

A10. ここ3年間では10件の新規就農者が就農しています。施設園芸で9件、肉牛で1件となっております。

Q11. 高齢化により営農継続が困難な方が今後増えてくる。居抜き継承も含め、今後、新規就農研修生の募集内容等の検討を願う

A11. 営農計画からの将来の居抜き希望の把握に努めるとともに就農希望者については、伊達市農業担い手協議会の新規就農者研修プログラムに基づき対応してまいります。

Q12. 新規就農者に対する賦課金額を柔軟に考えてほしい

A12. 正組合員と新規就農者では賦課金の徴収基準を変えており、新規就農者は優遇対象としております。

- Q13. 水田活用の直接支払交付金事業について、国営事業の絡みもあるので情報を速やかに流して欲しい
- A13. 令和4年度に水田活用交付金の直接払いが見直されることが決定しており、まだ正式に決定しておりませんが決定しましたら皆様に説明会を開催し連絡申し上げます。
- Q14. 国の補助事業等、有益と思われる事業については情報提供願いたい
- A14. 生産者の皆様に有益な情報については、各部門から情報提供をいたします。
- Q15. 税金申告方法についてどのように変更となったのか
- A15. ソリマチソフトを追加導入し、令和3年度申請からサービスの種類・利用料金等を一部変更になり今後5年目までには基本ソリマチソフトで作成しての申告を目指しております。
- Q16. コメ生産者の施設利用について、JAとの契約を明確にすべきではないか
- A16. 基準についての明確化は難しい面もありますが組合員の皆様からの意見を参考とし営農委員会において利用ルールについての協議検討をいたします。
- Q17. 今後の投資計画もあるので、畜産クラスター事業はいつ頃まで続くのか
- A17. 新型コロナウイルスの影響により乳製品の在庫が増加し乳量、乳価が上がらない状況から投資に躊躇することは理解するところです。現在は国の事業予算にて申し込みを頂くこととなります。また（いつまで）事業の継続するかについては不透明です。

■ 購 買 部

- Q1. コロナの影響なのか、肥料等資材の手配が難しい状況と聞くと今後の動向は

- A1. 今後の動向につきましてもこの状況が変わらなければ、引続き肥料等の手配は非常に厳しい状況が予想されます。系統や関係機関と連携を密にして営農に支障が出ない様供給に努めて行きたいと思いますので早期取り纏めの有効活用など予約購買にご理解願います。
- Q2. 飼料等が高騰しているが、今後の見通しについて情報はあるのか
- A2. 営農に関わる飼料や肥料等の価格について原材料の上昇や、燃油高騰などにより価格が上昇している現状にありますので現在の状況が続けば価格が更に上昇するという情報が案内されております。
- Q3. 古い農薬や肥料の処分に困る。廃プラ回収のようにできないか
- A3. ご質問の件については、現在対応可能か関係機関等と検討調整中です。正式な対応が回答出来る様になりましたら速やかにご案内いたします。
- Q4. 機械センター（整備士）の人材育成を願う
- A4. 自動車整備及び農機整備人材確保にかぎらず農協としても課題としております。外部からの採用の他、内部からの登用・育成も含め体制整備に努めてまいります。
- Q5. マーケットの5%クーポン券ありがたい。組合員は積極的に利用すべきだ
- A5. ありがとうございます。今後ともクーポン券利用を含め、生活事業のより一層のご利用をお願いいたします。
- Q6. マーケットの5%クーポン券を使うとマーケットは赤字になるのではないか
- A6. 多くの組合員の皆様に生活事業をご利用していただけるようクーポン券を配布し、組合員サービスをする事を目的としておりますので、組合員の皆様のより一層のご利用をお願いいたします。

グリーンセンターより

日曜・祝日営業及び延長営業

- 下記の期間、日曜営業並びに営業時間の延長を実施致します。
《日曜・祝日営業》
5月1日(日)～5月29日(日)まで
《営業時間延長》
4月29日(金)～8月31日(水)までの間
8時30分～18時まで

春の園芸市について

- 毎年大好評の園芸市を下記の通り開催いたします。
開催期間……4月29日(金)～5月5日(木)
開催場所……JA伊達市グリーンセンター
※期間中は大変混雑することが予想されますのでご了承ください。





あぐり王国北海道 NEXT 緊急生放送!「酪農応援スペシャル」



3月12日(土)17:00放送の「あぐり王国北海道 NEXT」は特別編!「酪農応援スペシャル」と題し、生放送で北海道酪農の魅力に迫ります!
酪農家・消費者の方々にリモート参加していただき、
夕方の搾乳現場からの生中継や、牛乳の美味しい飲み方研究など、
盛りだくさんの内容でお送りします!さらに視聴者参加コーナーも実施予定!
牛乳がもっと好きになること間違いなし!ぜひご覧ください!

放送翌々日の3月14日(月)から19日(土)17:00まで、
HBCの動画配信サービス「もんすけTV」で見逃し配信も実施しています。
【もんすけTV URL】<https://www.hbc.co.jp/monsuketv/>



JA北海道信連



北海道信連では、環境保全や地域美化の観点から、「NPO法人 北海道市民環境ネットワーク」が運営する「ラブアース・グリーンアップ運動 in 北海道」に参加し、事務所周辺の清掃活動を行っています。

今年度も、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響に留意したうえで、全道6ヶ所の事務所周辺にて清掃活動を実施し、地域の美化に貢献しました。

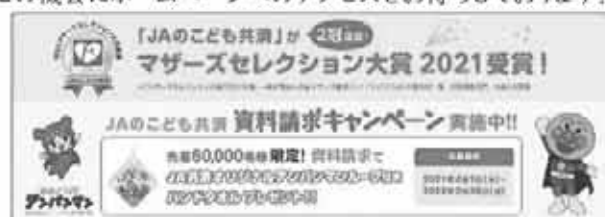


JA共済連北海道



JA共済では、『こども共済資料請求キャンペーン』を実施しております。JA共済ホームページから「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、『JA共済オリジナル アンパンマンループ付きハンドタオル』をプレゼントしております。

キャンペーンは先着6万名様限定で3月28日(月)迄です。この機会にホームページへのアクセスをお待ちしております!



ホクレン



ミルク&ナチュラルチーズフェア2022

北海道産牛乳からつくられる牛乳&乳製品の祭典

北海道牛乳普及協会とホクレンは、道産牛乳・乳製品の消費拡大を目的に、道産牛乳からつくられる牛乳&乳製品の祭典「ミルク&ナチュラルチーズフェア2022」を、1月の13日~17日・帯広会場(帯広藤丸百貨店)と、20日~24日・札幌会場(さっぽろ東急百貨店)で開催し、多くの来場者で賑わいました。

本祭典は今年36回目を迎え、道内69社の乳業メーカーや工房が一同に会し、700種類以上の牛乳・乳製品を販売。会場では、コロナ禍により経済的に困窮する学生を支援するための寄付金を募り、「牛乳・乳製品詰め合わせセット」を返礼品としてお渡しする企画を実施しました。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください

JA北海道厚生連



令和4年2月21日、特別養護老人ホームとところが移転新築し、オープンいたします。

新施設は全室個室で常呂厚生病院と隣接し、渡り廊下で繋がることで介護と医療がより連携を図ることができます。

整備された地域交流センターでは、イベントや講演会を通じて地域との交流を深め、より地域に根差した施設を目指してまいります。



JA北海道厚生連は、引続き組合員ならびに地域住民の皆様へより良い環境を提供できるよう取り組んでまいります。

大地がひとを強くする。

AGRI ACTION!

HOKKAIDO





サバ缶の北海道ヨーグルト
カレー焼き

北海道コンサドーレ札幌選手寮

しまふく寮の レシピ紹介

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は

食農パートナーです！

Vol. 4

「サバ缶の 北海道」
ヨーグルトカレー焼き」

材料(2人分)

- ・サバ水煮缶 1缶 (容量200g)
- ・玉ネギ 1/8個 (25g)

【A】

- ・よつ葉北海道十勝生乳100プレーン
ヨーグルトとろっとなめらか大さじ1
- ・クチャップ 大さじ1
- ・カレー粉 小さじ1/2
- ・ニンニク(すりおろし) 小さじ1/4
- 【仕上げ用】
- ・よつ葉北海道十勝生乳100プレーン
ヨーグルトとろっとなめらか大さじ2
- ・刻みパセリ 小さじ1

作り方

- ①今回は「よつ葉北海道十勝生乳100プレーンヨーグルト」を、とろっとなめらか「よつ葉」を使い、サバ缶は水気を切り、耐熱皿に入れる。サバが大きい場合は半分に崩す。玉ネギ



は薄切りにし、サバの上にのせる。
①【A】を混ぜ合わせ、②に混ぜ、1300Wのトースターで8分焼く。
③焼き上がった後、仕上げ用のヨーグルト、パセリをかけて完成。

レシピの特徴

爽やかなヨーグルトが効いたカレー味で、サバ缶を新しいおいしさに、おかずにはもちろん、おつまみにもピッタリです。

北海道コンサドーレ札幌の管理栄養士
小松信隆先生のコメント

サバ缶からたんぱく質とビタミンB6、ヨーグルトからカルシウム、ビタミンB2を摂れるので、ごはんと一緒に食べると、完璧な体づくり＆リカバリーメニューになります。脂質のエネルギー割合も、ごはんと合わせて20%程度になり、試合や練習後21時までの夕食にピッタリです。皆さんもぜひ、お試しください。



北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、
相互連携協定を結び、食農教育・社会貢献活動を展開しています！

ド・ファーム
コンサ・土・農園

みんなのよい食JA親善大使

2021年度
の主な
活動内容





令和4年度
第26回
理事会

▶第26回理事会…令和4年2月25日(金)

- 第 1 号 役員に対する資金供給について
- 第 2 号 JA伊達市特別条件緩和措置対象組合員の経営継続について
- 第 3 号 JA伊達市特別条件緩和措置対象組合員への新規貸付について
- 第 4 号 譲渡(家畜)担保評価額・頭数の設定基準について
- 第 5 号 令和4年度伊達市・登別市(縁故債)入札枠設定について
- 第 6 号 加工長葱販売に係る手数料について
- 第 7 号 購買業務規程の変更及び下取品等取扱要領の新設について
- 第 8 号 決算棚卸日程等について
- 第 9 号 決算監査日程について(3/28～3/30)について
- 第10号 地区別組合員懇談会の意見質問に対する回答について
- 第11号 令和4年度役員報酬の諮問及び委員委嘱について
- 第12号 令和4年度内部監査計画について
- 第13号 令和4年度経営定期点検実施計画について
- 第14号 令和4年度コンプライアンスプログラムについて
- 第15号 令和4年度計画に伴う投資計画について

農産係からお知らせ

精米業務の日程について

4月29日(金)～5月1日(日)…休業

5月3日(火)～5月5日(木)……休業

※5月2日(月)は通常営業します。

未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.53

地区調整会議を開催

2月に令和4年度から始まる工事へ向けて施工箇所の受益者を対象とした地区調整会議を行いました。

これまでの会議では、耕作地の現状や課題点の意見交換を行ってきました。

今回の会議では、これまでの意見を踏まえ、工事設計案等を確認しながら、具体的な内容について協議しました。

これからもこのような会議を行い、工事に向けた準備を進めてまいりますので、受益者の皆様のご協力をお願いします。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業
促進期成会事務局
(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内)
TEL0142-82-3201(直通)

